

2013年11月11日

各 位

J X 日 鉱 日 石 開 発 株 式 会 社

## ベトナム沖 15-2 鉱区ランドン油田の権益期間延長について

当社（社長：平井 茂雄）のプロジェクト子会社である日本ベトナム石油（社長：和佐田 演慎、以下「JVPC」）は、ベトナム沖 15-2 鉱区にてオペレーターとして原油を生産しておりますが、今般、同鉱区内ランドン油田における操業に関しベトナム政府より5年間の権益期間延長が承認されましたのでお知らせいたします。

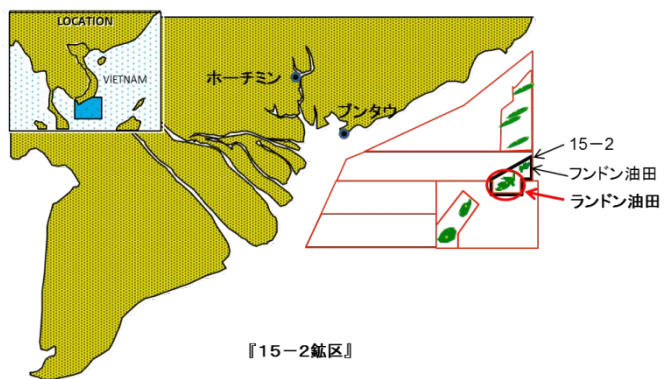
JVPC は、15-2 鉱区の 46.5% 権益を保有し、パートナーの PVEP 社（ベトナム国営石油会社 PetroVietnam の子会社：17.5%）、Perenco Rang Dong 社（仏系石油開発会社 Perenco 社の子会社：36%、以下「Perenco」）と共に、同鉱区の開発・生産活動を行っております。延長承認取得前は 2020 年 4 月 6 日に鉱区期限が切れることになっており、数年前より PetroVietnam ならびにベトナム政府と鉱区期限延長につき協議を進めておりましたが、最終的に JVPC ならびにパートナー各社によるこれまでの貢献が評価されると共に、今後ランドン油田において HCG-EOR プロジェクト（※）を実施するため、2025 年 4 月 6 日までの 5 年間の鉱区延長が認められたものです。なお、権益が延長される 2020 年 4 月 7 日からの権益比率は、JVPC が 39.5%、PVEP 30%、Perenco 30.5% となります。

ベトナム沖 15-2 鉱区では、1992 年 10 月の鉱区権益取得以降、JVPC がオペレーターとして探鉱活動を実施し、1994 年 6 月、試掘 1 号井でランドン油田を発見いたしました。その後、評価・開発作業を経て 1998 年 8 月から生産を行っており、2008 年 9 月に生産を開始した同鉱区内のフンドン油田と合わせて、これまでの累計生産量は 1 億 9 千 5 百万バレルに達しております。また今年 9 月には LTI（Lost Time Injuries, 休業災害）10 年間ゼロの記録を達成しており、安全操業を継続中です。

当社はベトナムをコア事業国の一つと位置付けており、今後も同国での石油・天然ガス開発事業に積極的に取り組んで参ります。

（※）HCG-EOR プロジェクト：炭化水素ガス（hydrocarbon gas）を油層に圧入することにより石油の回収率上昇（enhanced oil recovery）を図るプロジェクト。

## 鉱区図



以上

【添付資料】： ベトナムプロジェクトの概要